

| 授業形態 | 開講学部 | サービス経営学部 | | 選択 | 2単位 | 講義 | |
|---|--|----------|----|---|-----|------|---|
| | 2年次 | 開講期 | 前期 | ディスカッション | 無 | 学外授業 | 無 |
| 授業科目（英名） | 国際関係 (International Relations) | | | | | | |
| 担当教員名 | 松澤 祐介 (◎は科目責任者) | | | | | | |
| <p>〔授業の概要〕</p> <p>サービスの現場や経営を今後担っていく諸君に、外国や異文化を理解する力を養うことが狙いです。外国との安定的な関係を通じて我々の豊かさをいかに持続するか、を、世界の国々の状況や、戦争・紛争が起こる理由やその解決法を通じて考えます。2022年のロシアのウクライナ侵攻は、世界に戦争の衝撃を与えただけでなく、エネルギーや食料品価格の上昇で私たちの生活にも大きな影響を与えました。それだけではなく、ロシア上空を飛行機が飛べなくなったことから、日本とヨーロッパの時間的な距離が延び、航空料金にも価格転嫁されるなど、サービスの分野にも影響が表れています。不幸な事例ですが、「ウクライナ戦争」も学習のきっかけとして念頭に置きつつ、国際関係をサービス経営学部の科目と関連つけた授業とします。前半では、国と国の関係を知る初歩として、国とは何か、そこに住む人々・「民族」とは何かを検討します。また、その「国」と「国」の関係をどのように構築し、戦争・紛争の起こらない社会を作る努力（条約、国際機関の設立など）の歴史を、主として20世紀前半までの流れの中で学びます。中盤から後半では、第2次世界大戦後から現在に至る過程で、日本を含めたアジア、アメリカ、ヨーロッパなどがどのような関係をもち、対立・協調してきたか、冷戦や経済摩擦、地域統合などをトピックとして扱います。</p> <p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕</p> <p>この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、サービス経営学科の専門への関心にしたがった系統的な履修を支援する専門基幹科目として位置づけられます。戦後日本は平和主義の下で発展を遂げてきました。反面、海に囲まれた日本に住む私達は「国」「民族」の意識に希薄になりがちですが、世界では平和の大切さを理解しつつも国・民族間の紛争が絶えないという現実があります。そこでこの授業では、「国」「民族」とは何か、外国といかに関係を築くのか、戦争はなぜ起こり、いかにこれを回避・終結させるか、世界が発展し豊かになるための方法とは、などを問題意識とします。そして、近代から今日までの欧州、アジア、米国等を具体的テーマとし、その知見が、異文化をバックグラウンドとする訪日外国人等へのホスピタリティを発揮する力になることを期待する科目です。</p> <p>〔到達目標〕</p> <p>(1) サービス産業における世界とのつながりを考える際の基本的な知識としての、国、国家間の関係、国民の多様な在り様について説明できる。</p> <p>(2) 国家の関係や、国民、民族の多様性を知り、サービス業のグローバル化にあって、外国、外国人との対応に当たる際の基礎的な感覚、思考様式の獲得に寄与できる。</p> | | | | | | | |
| 回 | 授業計画 | | | 授業外学修 (事前学修・事後学修) | | 担当者 | |
| 1 | 「国」に関する基礎知識：国際関係を学ぶ基本事項として、国とは何か、を確認します。 | | | 事前学修（90分）：教科書序章をよむ 事後学修（90分）：授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む | | | |
| 2 | 国家と国民：国民とは何か、近代の国民国家の誕生、その背景にあるナショナリズムを考察します。 | | | 事前学修（90分）：教科書の第1部1、2を読む 事後学修（90分）：授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む | | | |
| 3 | 日本と近隣諸国の関係：国際関係を考える基礎として日本と近隣諸国の関係を概説します。 | | | 事前学修（90分）：教科書の第5部Ⅷの該当箇所を読む 事後学修（90分）：授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む | | | |
| 4 | 国際紛争の類型（1）領土紛争：近隣国との領土をめぐる紛争事例を学びます。 | | | 事前学修（90分）：教科書の第5部Ⅷ該当箇所を読む 事後学修（90分）：授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む | | | |
| 5 | 国際紛争の類型（2）独立をめぐる紛争：国家からの独立に際して生じた紛争事例を学びます。 | | | 事前学修（90分）：教科書の第3部1の該当箇所を読む 事後学修（90分）：授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む | | | |
| 6 | 国際紛争の類型（3）イデオロギーをめぐる紛争：国の体制や、宗教など、イデオロギーによる衝突、紛争を学びます。 | | | 事前学修（90分）：「世界知図2022」の該当箇所を読む 事後学修（90分）：授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む | | | |
| 7 | 国際関係の展開（1）：主権国家と国民国家の成立を学びます。 | | | 事前学修（90分）：教科書の第1部Ⅰの該当箇所を読む 事後学修（90分）：授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む | | | |
| 8 | 国際関係の展開（2）：19世紀末の帝国主義と第1次世界大戦、およびその後の国際関係を学びます。 | | | 事前学修（90分）：教科書の第1部Ⅱの該当箇所を読む 事後学修（90分）：授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む | | | |
| 9 | 国際関係の展開（3）：第2次世界大戦と戦後構想、戦後の冷戦への過程を学びます。 | | | 事前学修（90分）：教科書の第1部Ⅱ、Ⅲの該当箇所を読む 事後学修（90分）：授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む | | | |
| 10 | 国際関係の展開（4）：冷戦の展開とその終結までの過程を学びます。 | | | 事前学修（90分）：教科書の第1部Ⅲの該当箇所を読む 事後学修（90分）：授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む | | | |
| 11 | 国際関係の展開（5）：冷戦後の地域紛争の展開について学びます。 | | | 事前学修（90分）：教科書の第5部Ⅵの該当箇所を読む 事後学修（90分）：授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む | | | |

| | | | |
|----------------|---|---|--|
| 12 | 地域統合：EUなど国の枠を超えた統合についてその成果と課題を学びます。 | 事前学修（90分）：教科書の第5部VIの章該当箇所を読む 事後学修（90分）：授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む | |
| 13 | 国際機関の役割：国際連合などの国際機関の機能と役割、成果と課題を学びます。 | 事前学修（90分）：教科書の第2部VI、第3部IVの該当箇所を読む 事後学修（90分）：授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む | |
| 14 | 内戦と介入：他国内の紛争への介入の是非を、事例から学びます。 | 事前学修（90分）：教科書の第3部VIIの該当箇所を読む 事後学修（90分）：授業内容の復習に関するAAA配布課題に取り組む | |
| 15 | 国際社会の課題：テロ、移民・難民といったこんにちの国際社会の課題を分析します。 | 事前学修（90分）：教科書の第5部XIIの該当箇所を読む 事後学修（90分）：AAAで配布される全体のまとめとなる演習問題に取り組む | |
| 成績評価の方法と基準 | | 授業で課される講義内容に関する課題（50%）、定期試験（50%）で評価します。 | |
| 履修上の留意点 | | | |
| ディプロマ・ポリシーとの関連 | | この科目は、サービス経営学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、サービス経営学科の専門への関心にしたがった系統的な履修を支援する専門基幹科目として位置づけられます。サービス産業における世界とのつながりを考える際の基本的な知識としての、国、国家間の関係、国民の多様な在り様や国家の関係や、国民、民族の多様性を知り、外国/外国人との対応に当たる際の基礎的な感覚、思考様式の獲得に寄与できることが狙いです。 | |
| 教科書 | | 村田 晃嗣『国際政治学をつかむ』有斐閣 2018年 昭文社『ニュースがわかる 世界知図 2024』昭文社 2023年。 | |
| 参考書・参考資料 | | | |
| 学生との連絡方法 | | AAAを活用します。 | |
| 実務経験科目 | | | |